

法土会報

発行所：法政大学デザイン工学部
都市環境デザイン工学科 同窓会
〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-33
TEL・FAX (03) 5228 1406
発行人 中 村 徹
編集人 会報編集委員会

会長メッセージ

都市環境デザイン工学科同窓会（法土会）会長 中 村 徹（1978年卒）



都市環境デザイン工学科同窓会（法土会）会長の中村徹（1978年卒）です。日ごろは、同窓会活動にご参加、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

法土会は、工学部土木工学科同窓会から現在のデザイン工学部都市環境デザイン工学科同窓会に引き継がれて活動している歴史ある同窓会です。同窓会では、毎年大学の教室と共催して、キャリアデザインセミナーにおいて「同窓会と学生との意見交換会」を開催し、100名近い同窓生のご参加をいただいて、学部3年生と修士1年に対して就職活動に向けてのアドバイスをおこなっています。また、社会工学セミナーや女子部懇親会を開催して、同窓生どうしの交流も図っています。

このような活動に参加しますと、非常に多くの先輩や同期

生、後輩が、学術組織や会社において活躍していることに驚かされます。残念なことに、そうした事実を日頃われわれがあまり共有できないまま仕事をしており、たいへん勿体無いと感じます。現在、わが国は国家のリスクマネジメントとして、強くてしなやかな国をつくる国土強靱化（ナショナル・レジリエンス）に取り組まれています。この国土強靱化におけるインフラ整備の中心を担うのが、われわれ土木技術者です。われわれは、同窓会活動を通じて情報交換を活発におこない、相互の啓蒙を図って、法政土木の力を社会に発揮していきたいものです。

現在、この法土会報は理系同窓会費を納付している方だけに送られていますので、この記事および行事の案内をホームページやFacebook、個人メールでお知らせするようにしています。これをご覧になったみなさんが、声を掛け合って同窓会活動に積極的にご参加いただきますように、同窓生の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

都市環境デザイン工学科 教室からの近況報告

都市環境デザイン工学科 学科主任 教授 溝 渕 利 明



教室から、例年どおり入試・教員・就職などの状況について報告させていただきます。

今年度の新生は、入試センターの読み違いからか、68名（うち女子22名）で大幅に定員を下回る結果となりました（全学的にそうであったので、当学科のみの特異値ではありません）。また、女子の人数が1/3となり、一昔前では考えられない状況となっています。

専任教員に関しては、学科の生き字引であった宮下教授が退職されるとともに、藤山先生が突然辞められて他大学に転籍されました。宮下教授の後任として今年度から東京都市大学から今井先生が着任されました。

就職に関しては、今年度も前年度に引き続き好調です。これに比例して大学院への進学率が依然低調な状況です。

今年度も10月にキャリアデザインセミナーを実施いたします。教室と卒業生の方たちと今後もしっかり連携をとって、法土会を盛り上げていきたいと考えておりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

「卒業生と学生との意見交換会」への取り組み

法土会副会長 加藤 昌宏（1978年卒）

今年度も法土会では、10月12日に大学の学科と共催するゼミナールとして「卒業生と学生との意見交換会」を実施します。学部3年生と院修士1年生を対象に、就職等の進路の検討や卒業後のキャリア形成の一助とするために開催しており、今回で8回目を迎えます。

これまで参加した学生からは、卒業生という身近な存在から直接に、実感し得る情報や相談ができるなどの好評を得ています。学生の皆様には、進路選択の幅を広げ、就職

活動の準備や大学院進学を選択に寄与することを願っています。また、卒業生の皆様には、各業界PRの場はもとより、ネットワークづくりに役立てていただければと考えています。

法土会では、山田理事を中心に理事総動員のもとに学科と連携しながら、意見交換会が有意義な場として活用できるよう運営に努めています。ぜひ、皆様の積極的な参加をお待ちしていますので、よろしくお願いいたします。

研究室紹介

社会空間情報研究室

デザイン工学研究科

准教授 今井 龍一



私は、「産」の日本工営(株)、「官」の国土交通省国土技術政策総合研究所、「学」の東京都市大学を経て、本年4月に本学科へ着任しました。専門分野は、都市交通、測量・計測、土木情報学です。研究室では、次の2本柱を設定し、産官学の多くの関係者と研究体制を構築して鋭意取り組んでいます。これから末永くどうぞよろしくお願い申し上げます。

★国土空間の計測・管理手法の研究：レーザやカメラなど様々な機器を搭載した移動体計測車両やUAVなどで計測された写真や点群データを用いた国土空間モデルの生成・活用手法を研究しています。

★都市活動の分析・見える化の研究：携帯電話などの媒体から24時間365日取得されるヒト・モノ・コトの膨大な移動履歴のデータ（交通ビッグデータ）や統計調査の各種資料を組合せて、都市活動の現状把握、潜在する事象の発見や将来予測に係わる分析・見える化手法、分析・見える化に応じた道路ネットワークや地図基盤を研究しています。



北海道地区同窓会の開催報告

法士会理事 北條 幸雄 (1981年修了)

北海道地区同窓会を土木学会北海道大会に合わせ、2018年8月30日「JRタワーホテル日航札幌（36F宴会場「たいようJ」）」で開催しました。当日は、先生6名、学生9名、卒業生14名、総勢29名の参加となりました。

逸見様の司会のもと、中村会長の開催挨拶、藤山先生の学科の動向紹介ののち、懇親会に入りました。先生方のご挨拶、学生、卒業生近況報告等で時間を費やし、盛況のうちに散会となりました。

今回の北海道地区の同窓会の幹事をお務めいただいた

逸見様（JR北海道ホテルズ株式会社）には、手配、司会などご尽力いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



北海道地区同窓会 集合写真

速報

2019年9月4日香川県高松にて四国地区同窓会を開催しました。飛び入り参加を含め総勢17名とこじんまりとした同窓会でしたが、四国地区幹事をお願いした河原様の進行により、大いに盛りあがりました。

退職を迎えて

よき師よき友

都市環境デザイン工学科 教授 宮下 清栄



退職記念祝賀会にて

学生時代を含めるとほぼ半世紀法政大学にお世話になりました。

多くの先生方や学生、同窓生に支えられて定年を迎えられたのは、校歌に歌われているように「よき師よき友つどひ結べり」を改めて実感しています。教員の一番の喜びは学生時代あまり勉強しなかった学生が成長した姿を見せに大学を訪ねてくれることです。学科の先生方は暖かく迎え入れてくれますので是非大学を訪ねてください。

グリーンインフラがこれからの地域再生には必要不可欠なのではと考えています。イギリス中部の小さな町（トッドモーデン）を参

考に、食べられる物を中心にするエジブルガーデンにする事が交流促進になると思っています。

最後にはありますが、皆さんそれぞれ大変ご活躍されておりますが、同窓会ネットワークとしては残念ながらまだまだ貧弱です。それぞれ益々ご活躍いただきながら、サードプレイスの一つとして法士会の活用とご支援をお願いいたします。

法士会 頑張れ！

「We are the Champions, My Friends」

宮下先生の御退職祝賀会

法土会副会長 **山 川 宏 明** (1984年卒)

本学科同窓生でもあり当デザイン工学部都市環境デザイン工学科（旧：工学部土木工学科）の専任教員の宮下清栄教授が、2019年3月をもって法政大学を退職されました。

宮下教授は本学卒業以来、法政大学一筋40年間教鞭を振るわれ、ご研究や教育に務められてきたのに加えて、学生の就職支援にも長年ご尽力されてきました。

去る3月9日(土)に「法土会」「計友会」「宮下研OB会」「都市環境デザイン工学科教授会」協賛で『宮下清栄教授退職記念祝賀会』を開催しました。ご来賓の方々をはじめ大学教員、卒業生、在校生合わせ164名の方々に参加頂き盛大に行われました。



宮下清栄教授退職記念祝賀会:市ヶ谷キャンパス富士見ゲート「つどい」にて

活躍する卒業生①

ランドソリューション株式会社 **溝 口 望 夢** (2008年卒)



平成20年に卒業し、株式会社安藤・間（当時の株式会社 間組）に入社、9年目でランドソリューション株式会社に転職し、現在社会人12年目になります。ダム工事や災害復旧工事を経験し、今は土壌汚染浄化工事にて施工管理業務に従事しています。

今行っている工事は住宅地の中で行っており、近隣住民の方に迷惑をかけないよう騒音や振動に配慮するのは当然ながら、人体に有害な物質を含む土壌を扱っているため、周囲に影響を与えないように工事を

進めなければならないなど、気を使うことがとても多いです。

これまで色々な工事現場を経験し、現在は現場の責任者という立場で仕事をするが増えました。現場で起こる様々な問題に対して、自分の責任で最終的な決断をしなければいけないので、大きなプレッシャーを感じることもあります。しかし皆で意見を出し合い、試行錯誤し、問題が解決した時や、工事が無事に竣工した時の達成感は特別なものがあります。今後はこの達成感を後輩達にも味わって貰えるようにサポートできる先輩になるとともに、安心して仕事を任せられる技術者になっていきたいと思っています。

活躍する卒業生②

東京地下鉄株式会社 **厚 地 ふみの** (2011年卒)



2011年に卒業、東京地下鉄株式会社に入社し、入社8年目になります。1年目は、本社で保守土木、軌道、建築の部署で予算管理やご意見管理の部署を経験し、2年目以降は現場でレールの保守管理の部署や、駅施設の保守管理の業務に従事しています。

現場では、クレーンの操作や夜間の保守用車の操縦といった学生時代の自分では想像もしていなかったような業務を経験しました。先輩から教えていただいた“レールは生きている”という言葉通り、日々の徒歩巡回（昼間にトンネル内を歩いてレール等に異常がないかを確認する業務）では、レールの状態が日々変化していくところを目の当たりにしました。過密ダイヤの中、レールの保守を行う部門を経験できたことは安全管理の業務を行う上で非常に勉強になりました。

また上野駅の駅改装工事では、上野駅の特徴を捉えた“美術館のあるえき”をコンセプトとした工事に関わりました。

営業しながらの駅工事は、旅客誘導や駅施設の入れ替え

のタイミング等、留意点が非常に多く、保守工事と改良工事の違いに戸惑いながらも充実した経験となりました。銀座線リニューアル工事の第一弾ということもあり、良い駅を作ろうという気持ちを会社を超えて設計会社や施工会社と共有できたことは良い経験となりました。実はこの工事を担当しているときに妊娠が発覚したのですが、育休前、終電近くまで仕事をしていたことは、今となっては良い思い出です。

現在は育児休暇を経て、3歳の娘を育てながら駅施設の保守管理業務を行なっています。入社当時、土木・軌道・建築の技術職で育児休暇を経て復帰した女性は東京メトロには一人もいませんでした。少ない人数ながら、JR東日本の女性技術者との交流会を主催する等、今後働き続ける上での不安をみんなで解消することができ、今では育児休暇を経て職場復帰をする女性が年々、増えています。

育児休業を経て復帰してから、ますます仕事の楽しさを味わえていると思います。これは職場の方をはじめ、協力会社の方や家族等、多くの方に支えられているからだと日々感じます。今後も人と人とのつながりを大切にして、業務に従事したいと考えます。

第26回 社会工学セミナー開催報告

法士会理事 **小宮 勲** (1998年卒)

社会工学セミナーは、先生による日頃聞けないようなご専門の研究や卒業生による現在携わっている業務等のご講演を通して、卒業生と学生の交流の場として、年に1回開催しております。今年度は、2019年7月12日に法政大学市ヶ谷田町校舎にて開催し、卒業生32名、学生13名、教室3名にご参加頂き、大盛況のうちに終了いたしました。

大学からは、内田大介准教授から「鋼材溶接継手部の疲労強度向上法」との題目で、昨今、土木構造物の長寿命化が求められる中で、特に鋼橋の継手部に着目し、疲労強度改善方法を旧標準との対比や現地写真等も紹介し、より具体的にわかりやすいご講演を頂きました。

まさに、現在、設計や施工業務に携わっている卒業生や、今後、携わることになると思われる学生達にとって、より有意義ですぐにでも実用可能なご講演でした。

一方、卒業生からは、東電設計株式会社の野口様から「ダムを取り巻く最近の話題」との題目で、最近のダムの事故事例や国際大ダム会議の活動、コ

ンクリートダム建設の合理化等のご講演を頂きました。特に最近のダムの事故事例では、その原因に対しての分析・評価をご報告頂くとともに、地盤の透水性評価が重大事故に繋がったなど、より具体的かつ土木技術者として身の引締まるご講演でした。

■講演題目

・「鋼材溶接継手部の疲労強度向上法」

法政大学デザイン工学部

都市環境デザイン工学科准教授

内田 大介 先生

・「ダムを取り巻く最近の話題」

東電設計株式会社 土木本部 部長

野口 博章 氏

(法政大学大学院工学研究科建設工学専攻 1981年修了)



都市環境デザイン工学科准教授の内田大介先生の講演



東電設計株式会社 土木本部 部長
野口博章氏の講演

講演終了後は、ご講演されたお二方を交え、教室の先生方や卒業生など約24名も参加頂き、近くのお店で親交を深め、有意義な時間を過ごすことができました。今後も法士会としては、この社会工学セミナーを通じて卒業生と先生方や学生との交流が深まればと思っています。また、このセミナーが日頃の学業や業務等に活用されることを願うと共に、社会でご活躍されている先輩方を拝見することができ、今後、社会に出られる学生の方に必ずや参考になるのではないかと、法士会一同思う次第です。

是非、今年参加されなかった卒業生及び学生の皆さん、来年の社会工学セミナー（7月開催予定）に参加されてはいかがでしょうか。

編集後記

学部を卒業して早8年、建設会社の営業マンとして日々精進？していますが、先日、出張先で法政大学土木工学科卒の大先輩にお会いする機会がありました。

同窓生ということで、学生時代の話、校舎移転の話、工学部ならではの男女比の話等々、尽きぬ話題に楽しい時間を過ごし、また、全国各地に素晴らしいOB・OGがいることを実感しました。同窓会活動がもっと活発になればいいな、法士会会報誌も多くの学生・卒業生に読んでもらえればいいな、と思いつつ、今回の編集作業に携わらせていただきました。

編集委員 捧 加奈美 (2011年卒)

職場に5ヶ月の研修を終え、9月より新入社員が配属となりました。5年ほど連続で新入社員が配属されてきたため、学生時代を思い出すきっかけとなり、学生時代の友人と集まることも増えました。私の在学中からは学部・学科名も変更となっていますが、法政大学からも定期的に入社してくれています。社会人になるまでは大学というくくりでの仲間意識はあまり有りませんでした。就職してからは法政大学卒業生であるという繋がりを意識することが多くなっています。法士会報を読んでいただき法政大学の卒業生同士の繋がりのきっかけになっていただければ幸いです。

編集委員 今泉 裕 (2007年卒)

法政大学 理系同窓会ホームページ

<http://133.25.196.100/joomla3201/index.php>

法政大学 デザイン工学部
都市環境デザイン工学科 同窓会(法士会) ホームページ

http://civil.ws.hosei.ac.jp/wp/shinro_tokuchou/alumni_association